

かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311
FAX 66-1314



大江橋分教会

昭和10年11月3日 葦福分教会設立
昭和21年5月26日 移転改称
昭和49年8月26日 移転建築
昭和52年12月4日 落成奉告祭

教祖百四十年祭 笠岡大教会活動方針

つながろう、おやさまのお心に。
つなげよう、信仰の喜びを。

活動
目標

ひながたを学び、そのお心を実践しよう。

実践
項目

毎日、喜び・感謝を声に出そう



教祖140年祭

立教188年
6月号

縦の伝道講習会 開催
5・21 祭典後
少年会

去る、5月21日、少年会笠岡団(森本忠善団長は、久保一元先生(少年会本部委員・麴町大教会長)を講師に迎え、縦の伝道講習会を開催。役員・部内教会長・ようぼく・信者多数が受講した。講話要旨は次の通り。

私は教会長になって8年になります。が、初めの頃思っていた縦の伝道に対する思いは、「危機感」という感覚でした。形のことを考えると不安や心配のイメージばかりでしたので、20代の頃からありとあらゆる教会・布教所に勉強に行かせていただきました。そして、早速教えてもらったことを夫婦で実践したり、子育てに取り入れました。結婚して13年目で気付いたことは、縦の伝道とは、「幸せに生きる方法を伝えること」です。

少年会設立の理念に、「まず親がみ教えに添って喜びに満ちた生活を送ること、子供に信仰の喜びが伝わる。縦の伝道の基盤は家庭にある」とあります。今日は、そのうまくいく方法と

して、「私が末代まで伝えていきたい縦の伝道3つのポイント」を紹介します。

1つ目は、「言葉」についてです。教祖は榊井伊三郎さんに、夫婦関係を治める方法として言葉の大切さを教えて下さった。

言葉一つが肝心。吐く息引く息一つの加減で内々治まる。
(逸話篇137)

普段、言葉は無意識に使い、あまり考えてない。でも教祖はこの言葉の加減で全然違うと仰っている。

私の家の因縁という話を妻は結婚前に両親から聞いたり、教会史を読んでいた。代々長男が立っていかない。私の前の代は後妻さんがきている。そこで因縁を悟りまして、妻の方から結婚したらやりたいことがあると言いました。それは10月28日おちばで結婚式を挙げたその日の夜から、布団の上で膝をついて手をついて、お互いに向き合って、「今日も一日ありがとうございませう。おやすみなさい。」とやり始めた。これを毎日させてもらいたいと言うてきました。毎日続けていくうちにこれが当たり前になっていく、こ

のちよつとした言葉ですが、毎日々々続けて気付いたら今年で13年。「今日一日いてくれるだけでありがたい。」ということを書き出す。では喧嘩を

しないのかと言うたら当然喧嘩をするわけです。喧嘩している時はどうするかと思いますが、喧嘩しても言葉だけはやりませう。心は全く伴ってなくても言葉だけは出します。これが大事です。言葉を先に出すと心も後からついてくる。むしろ低くなるというのは仲直りが早くできるわけです。やがて子供が1人できて赤ちゃんも一緒にします。次は2人になり、今は4人の子供がいまいますが、「お父さん今日も一日ありがとうございませう。おやすみなさい。」私の方が頭を下げる。

天理教 教祖、それを子供が好きになつたり、信じたりできるようにするのは、毎日親の言葉次第で変わってくる。そこに大切な縦の伝道があります。教祖は、明日食べるお米がありませうという時に、

わしらは結構や、水を飲めば水の味がする。
(教祖伝三章)

と、この言葉だけで、ガラツと見え方がかわる。また、いろんな不安があつてお屋敷に来られた人が、

先を楽しめ、楽しめ。松は枯れても案じなよ。人が何んと言うても、言おうとも、人の言う事、心にかけるやない程に。
(逸話篇147)

と言われたら、大変勇気がでます。また、子供を亡くした、こんなに辛いことはない。それでも教祖は言葉で、「大きい方でのうて、よかつたなあ。」
(逸話篇184)

それだけで全然見え方が変わります。どれだけ教祖の言葉によつて明るくなつて身を変えていただいたか分かりません。教祖は、

人のたすけもこの理やで。心の皺を、話の理で伸ばしてやるのやで。
(逸話篇145)

と仰いました。言葉を使って周りを明るく勇ませる、幸せにする、これとても大切な縦の伝道です。

人間が幸せに生きるには、誠という精神が大事であることに気がしますが、誠は、おかきさげにもありますが、「日々という常という、日々常に誠」の精神、そして、私だけでなく、夫婦でも親子でも相手も一人ひとりがそういう精神でいたらみんな仲睦まじく、それより大切なことはない。そして、「人を救ける心」こそ「真の誠」であ

る。

更に、誠の心を深掘りしますと、

まことゝいふは、くちと、心と、

手と、この三つが、そろふて、し

んのまことゝいふ。(正文遺韻)

という文献があります。これを言い換えますと、口は言葉、手は行動・行い、心は心の中であります。全部3つとも誠の心に一貫します。

次に、2つ目は「合わせる」ことです。ふたりのころをおさめいよ

なにかのこともあらわれる 四下り目2

これを仮に夫婦としたら、私と妻は育ちが全然違います。元は他人の2人が一緒に暮らす、よく考えたら凄いです。ですから、絶対に偉そうにしたらいけない。当たり前だと思つてはいけません。これも教祖が教えて下さっています。

「伊三郎さん、あんたは外ではなかなかやさしい人付き合いの良い人であるが、我が家に帰つて、女房の顔を見てガミガミ腹を立てて叱ることは、これは一番いかんこ

とやで。それだけは今後決してせんように。」(逸話篇11)

私は本当にドキツとしました。例えば、コーヒーを淹れてもらつても、当たり前顔をしない。「元は他人の奥さん」いつもありがとう」と言つて、「いえいえあなたの方こそ(元は他人の旦那さん)本当にいつも御用を一生懸命してくれてありがとう」と、「いえいえ」と相手を拝むと家(いえ)が2軒建つと聞きます。

天理教の柏手は4回たたきます。これは4回合わせて幸せになる。ところが、人間というのは良い気どころか気分・気癖という癖性分があります。夫婦・親子・嫁姑二つ一つが合わせますが、気分・気癖が合わないと神様からメッセーヂをいただくわけです。

私の経験ですが、おちば生活から帰つて来て、夫婦で2年間布教所生活をしました。その時、長男が1歳になる直前だったと思います。元教会でポロポロでしてエアコンもないテレビもない、そして、障子もポロポロ、そういうところで布教を始め、初日はいろいろ忙しくてご飯を作り終えたのが夜9時でした。うまくいかないことばかりでイライラして、初日の夜に夫婦で大喧嘩をしました。それまで一度も夜泣きをしなかつた長男がその晩大きな声

ですーと泣きつばなし。もう全く泣き止みません。隙間だらけの窓からご近所さんに長男の声がそこら中に響き渡つて、大変情けない思いをしました。

子よなきをもふ心へちがうでな

こがなくでな神のくときや 三 29

はやくと神がしらすしてやるほどに

いかな事でもしかとききわけ 三 30

をやくの心がいのないよふに

はやくしやんをするがよいぞや 三 31

次の日、私は妻に対してあんなに偉そうに思つた心を、おつとめで頭を下げました。夜泣き一つでも神様のメッセーヂと聞かせていただきます。

教会でいろんな方を預かつたり、に

をいがけ・おたすけされている方がいると思ひますが、それは知らず知らず合わせるという力を身に付けていると思ひます。道の子は世間の子と違う、

おじいちゃん・おばあちゃん・兄弟と合わせるという機会があります。最近殆どが核家族です。教会にいるいろんな人が出入りします。少年会活動は合わせる心を育むことで、おふでさきにも、

しやハセをよきよふにとてじうぶんに

みについでくるこれをたのしめ 二 42

合わせる、要するに仕合わせる。幸せ

というのは合わせなければ幸せにならない。

ただ、これを身に付けることは最初から誰でもできるわけではなく、身に付けるように育んでいると、幸せになる力を手に入れることができると思ひます。

最後3つ目は、「心の成人」です。教祖は人間の心の成人を待ち望んでおられます。

先日あるお話で、「徳育」という言葉が聞きました。今は子供の教育に力を入れて親御さんが多くて、勉強やスポーツ、つまり「知育」や「体育」はやる人が多い。でも、私はこのお道が伝えられるものは、この「徳育」だと思ひます。

徳というのは人生の掛け算です。例えば、先程の勉強であつても努力・体験で身につくわけですが、それを本当に生かしたり、花を咲かせられるかどうかは徳の掛け算で決まると思ひます。

最近個性のある子が増えてきました。個性でさえも、徳さえあればその子が最大限に生かすことができ、それを強みにすることが出来る。それがで

きるかできないかは、徳の部分です。

大谷翔平選手のゴミ拾いのことは有名ですが、マウンドにゴミが落ちていたら必ず拾う。拾う必要もないのに拾う。マスコミが「何でゴミを拾うんですか」と聞くと、「ゴミは人が落とした運である。ゴミを拾うことで運を拾う。それが自分にツキを呼ぶ。高校の先生から教わりました。」と答えます。大谷選手が高校生の時に書いたマンダラチャートには、この時すでに技術的な目標以外に、運とか人間性を高めることが書かれている。道具を大切に扱うとか、掃除をする、挨拶をする、プラス思考、感謝。この時から意識して生活している。ですから、一流の人というのは、徳の大切さに気付いていると思います。

また、山中こいそ先生に教祖が、「目に見える徳ほしいか、目に見えん徳ほしいか。どちらがいいか」と聞かれたところ、

「形のある物は、失うたり盗られたりしますので、目に見えん徳頂きとうございます。」(逸話篇11)

と仰って、目に見えないものがいかに大事であるか。

最近のニュースでも、地位・名誉・財

産がどれだけあっても、徳がゼロになつたら、本当に全部失つたり、取られたりすることをよく聞きます。

ですから、徳は大事だな、徳育は大事だと思つて、ある先生に「徳を積ませてあげるにはどうしたらいいか」聞いたことがある。「例えばおもちゃ一つでも、親の代わりに子供の子守をしてくれるのだから、おもちゃも大事の一つずつ名前を書いて、そして、『おもちゃさんありがとう』と言って、一緒に片付けして、子供に物の恩を教えるてあげるんだよ」と教えてもらつて、実際にやっています。

思い起こせば、私の母は、私が生まれた時から42年間、毎月一度も欠かさず、私の名前で教祖殿(教祖)にお菓子をお供えしている。成人した今でもしている。それを知った私の妻は、今度自分たちの子供の名前で必ず毎月欠かさずに、本部の教祖殿にお菓子を供える。そのせいか分りませんが、不思議とお客さんの時のお菓子に困ったことがない。

また、生活してどうしてこのタイングでこの人と会うのかと思うことがよくあります。こうした不思議なご縁も全て親々のお徳だと思ひます。

ですから、目に見えん徳いっぱいの子に育ってもらえるように親が徳を積ませてもらうことが大事だと思ひます。

最後に私の家の話をします。私の父は8歳で母を亡くし、後妻さんがきて、16歳で父を亡くした。きつと言葉に出れない苦労があつたと思ひます。それがあり私が8歳までは、後妻の母(父の養母)が大教会長を勤めて下さり、父は事情教会の復興に携わり、結構大変だつた。でもその苦労に対して、「何々のせいで」とか絶対言わずに、「そのお陰で色んなことができた」と言ひます。父が16歳の時に祖父を亡くし、私が16歳の時に父が身上になり、本来するべき御用というものがなかなかできなくなつた。でも、色々とお道を勉強して、いんねんという事がなんとなく分つてくると、そうか、今の姿は薄紙を剥ぐように、だんだんと救けていただいている姿だとやつと感謝できるとなつてきました。そう思うといんねんの自覚をする、この話をちゃんと次の子供に伝えていくことは、私はとても大事だと思ひます。決して押し売りするわけではなく、それがあから自分達は何れだけ救かつているかが分るようになります。

最後に、今年のごどもおちばがえりに一人でも多くの子供達に、人類の故郷へ帰っていただきましょう。

ご清聴ありがとうございました。

(文責 藤井保人)

「眞明組
おやさと伏せ込み
ひのきしん」に参加
布教部

布教部(田中隆之部長)は、去る5月25・26日、教祖140年祭に向かう年祭活動仕上げの年、芦津眞明組(芦津大教会)に繋がる6大教会で実施されたおやさと伏せ込みひのきしんに参加しました。

25日朝、前日からの雨が降り止まず、午後からのひのきしん実施が危ぶまれましたが、笠岡は12時に西礼拝場集合、大教会長様を芯に「おつとめ」を勤め、ひのきしん場所の豊田山お墓地に移動し他の大教会と合流。この頃には皆さんの熱意が届いたのか霧雨となつていました。

1時より説明を受け、割り当てられた一般の方の墓地で除草ひのきしんに



豊田山墓地に参集し、一般墓地の草ひきを行った



励みました。
墓石と墓石の間にはびこった雑草の根深さに悪戦苦闘：集合時間がきてしまい、やり残しが出来てしまったのは残念でした。
2時のサイレンに合わせて礼拝、芦津大教会長様のご挨拶を頂戴し、この



ひのきしん後に挨拶される芦津大教会長・井筒梅夫先生



日は解散となりました。
26日、祭典終了後、神殿西支所前に集合し、神苑で草引きひのきしんを実施しました。
前日のお墓地とは打って変わって、何処に草が有るの？というほど手が行き届いていました。後日、『天理時



「笠岡」の幟を目印に、懐かしい顔ぶれが集結



報』(6/18号)で、豊田山墓地周辺やおやさとやかた周辺でひのきしんの手が行き届かない場所がある事を知りました。今後の活動に加えてみては思いました。
ひのきしん実施に当たって、事前準備・駐車場係・誘導係・後片付け等々、



「何処に草が有るの？」と雑談に花が咲いた(^-^):



ご協力頂いた多くの方々にお礼申し上げます。ありがとうございます。
次回は10月26日(日)、祭典終了後、西支所前に集合となっております。「ニコニコ、いそいそ」と参加させて頂きましよう!!
(布教部員 室 悦子)

**楽しい時間を
過ごしましょう**

直バル ただ あじさい 味彩 フェスタ

14:00 開会
～出し物～
15:00 頃そうめん流し
～出し物～
16:00 頃ビンゴゲーム
16:30 開会の挨拶

スタッフによる
心温まる余興
を準備しています

模擬店

- 揚げたこ焼き
- からあげ・かき氷
- そうめん
- ナン&カレー

模擬店チケット300円
全メニューつき

2025 **6/7 (土)**

【開催時間】 14:00～16:30
【開催場所】 直小学校グラウンド
(野々江第二団地集会所)

後援 協賛 天理教笠岡大教会 岡山県笠岡市用之江377 珠洲ひのきしんセンター

仮設住宅に貼られたポスター



珠洲市からおぢばに向かい
鎮魂と復興を願いよろづよ八首



30度近い炎天下での会場作り

能登半島支援活動(第4回目)
報告
会長室

この度、第4回目の大教会発信の能登半島支援活動に、6月6日夜から8日朝までの行程で行かせていただきました。

支援活動の方法は色々ありますが、地震後1年半になり被災されている人達がメンタルな部分での救済が必要とされていると珠洲ひのきしんセンターの方に聞いた上で、今回も何か食事を含めたフェスタの様な事をさせて頂い

うと決めました。

その為には最低20人程度が必要となり、更にはマイクロバスとトラックの運転手を確保する事から始めました。出発してから約35時間は横になる事も出来ないこの過酷な行程に再度行きたいと手を挙げてくださった方14人、初めての参加が8人の22人が集まりました。偶然の様ですが教祖が寄せてくれた人達だと確信があるので、私はこのメンバーをいつも「ドリームチーム」と呼んでいます。

全ての食事・アトラクションの準備を整えて珠洲市の寶立分教会に着き、

朝づとめ・朝食を済ませた後、女性軍は料理の準備、男性軍は直(ただ)小学校内にある仮設住宅で催すフェスタの準備を始めました。

2時から開始。沢山の種類の食事を留意し、アトラクションも流しそうめん・スーパールボールすくい・ダンス・マジック・フルーツ演奏・ゲームやビンゴゲームなど、会場に来た方と色々な話をしながら楽しい時間と空間を過ごしました。

チケット代は300円にしました。それは、来て下さる側が段々と自立していく過程にあるという「参加型」にした

いと思ったからです(最終的には復興の為全額仮設住宅に寄付)。約60数人の方が来場され、「初めて流しそうめんを経験した/初めてナンを食べた」と感動された声を頂きました。

約2時間半の時間があつという間に過ぎ、お別れの時には多くの仮設住宅入居者の人達が手を振って見送ってくださいました。いつもそうですが、こちらがさせて頂いているのに、こちらが力を貰って帰ります。

過酷な行程にも関わらず参加したメンバー全員が「来て良かった」という感想を持ち、特に大学生や若い人達が

参加者の声

「とても嬉しかった／または是非参加したい」という気持ちを持ってくれた事が、とても有難い気持ちになりました。

この度の支援に於いて、多くの方々
の寄付や食材の提供、婦人会からのビ
ング景品など、多くの支えがあつて完
遂する事が出来ました事を、心からお
礼申し上げます。有難うございました。
(災害対策委員 上原志郎)

湯田原分教会 吉岡靖子
▼支援活動に思うこと

前回より参加させて頂き今回で2回
目となる第4回能登半島支援活動に
行ってまいりました。

不思議な縁で前回人数が集まらな
いということで所属分教会の奥様から
お声掛けを頂き「バスで道が悪い中夜
通し走ってからの支援になるので大
変」と聞かせて頂きましたが車の中
で寝るのが苦ではない私は仕事も休
みだった為勇んで参加させて頂きま
した。何もわからないまま言われたこと
をするだけの1回目でしたが、立場も
年齢も違う方々とワンチームになつて
活動するドリームチームの一員となれ

たことに感謝しかありません。

能登での支援では、前回地元の方に
とても喜んで頂いたのですが、今回も
「また来てくれたの」「私を覚えて声
を掛けてくれて嬉しい」など喜びの
声は沢山頂きました。何より嬉し
かったのは筋肉痛になりながら覚えて
いったダンスを踊った後「アンコール！」
と言つて頂いた時でした。苦勞が喜
びに変わった瞬間でした。また、来場
された人が無料の靴下を喜んで手に
取られ、後から来た人達にも勧めら
れました。消耗品でも必要な靴下は
入居者の人達に大変喜ばれていま
した。



男子チームによるオープニングの
マツケンサンバ

復興の方はゆっくりな感じで崩壊し
ていた家が更地になっていたり、新
しい家が建っている所もありました
が、仮設住宅から出て行かれて空
き部屋になつても困っている次の方
が入れることはないそうです。道も
まだまだでこぼこでした。その中
を運転して下さった男性陣の方々
には感謝しかありません。

私1人が出来ることは小さいですが
それがチームとなり参加出来なく
ても心や力を添えて下さる方々の
思いが一つとなつて成し得ること
だと思わせて頂きました。



メンバーの徳分を生かした人だすけ
(支援活動の拠点・寶立分教会客間にて)

今、私に出来ることを精一杯努
め、感謝の気持ちを忘れず日々元
気に通らして頂き、また能登の方
々にお会い出来る日を楽しみにして
おります。

海松ヶ岡分教会 森本忠一

6月6日～8日、能登支援活動に
初めて参加させて頂きました。参加
するまでは少し不安もありましたが、
「人に喜んでほしい」という思い
が集まったチームは、お互いを補
い合いながら温かい雰囲気になつて
いて、本当にドリームチームだと感
じま



意外と目玉商品となったきゅうり一本漬け



初めて食べる流しそうめん

した。とても楽しく、有意義な時間を過ごすことができました。

今回は現地でバル(スペイン語でお酒や軽食を提供する)お祭りのようなイベントを企画し、開催させて頂きました。

僕は主にナンカレーの受付を担当しました。待ち時間に現地の方々とお話する機会があり、その交流がとても印象に残っています。忙しい中ではありますが、あの何気ない会話の時間を、もっと大切にしていきたいです。

ナンカレーを「生まれて初めて食べ



大興奮のビンゴゲーム

る」と言つて喜んでくださった方も何人かいらつしやり、その瞬間は心にくつとくるものがありました。言葉にはしきれませんでした。その場に立ち会えたことを心から光栄に思います。

最後の挨拶で「国から見放された、スラム街のような場所」といった言葉を聞き、改めて現地の状況の厳しさを感じました。

バルには想像以上にたくさんの子どもたちが来てくれていて、僕はダンスを披露する出番があり、自分の踊りを

通じて少しでもなにかを感じてもらえたら...という思いで「Better days comin' for sure(きつと良い日がやってくる)」という歌詞に心を込めて踊りました。少しでも未来への光を届ける力になれたなら嬉しいです。

今後もぜひこの活動に参加し、現地の方々とともに前を向いて歩んでいけたらと思つています。改めて、この機会をくださった皆さん、本当にありがとうございました。

大江橋分教会 村川陽子

今回お誘いいただき、はじめて能登半島支援活動に参加させていただきました。

直バルのステージで、私はフルートでサザンオールスターズの「桜、ひらり」と中島みゆきさんの「糸」の2曲を演奏させていただきました。緊張しましたが、みなさんが手拍子をしたり、一緒に歌ってくださいたりしながら聴いてくださり、とても嬉しかったです。演奏後、すぐにとあるご婦人の方が「フルートを娘さんに送ろうと思ひ、玄関に置いていたが(津波で)流

されてしまった。思い出すものがある。ありがとう。」と声を掛けてくださいました。その方は、離れて暮らしている娘さんが以前フルートを吹いていたそうで、娘さんが思い浮かび、色々な思いが巡ったようです。この日のためにフルートしていたんだね、という声もいただき、本当にそうだな、このような機会をいただけて本当にありがたくて嬉しいなと思ひました。

失つたものは多いはずなのに、現地の方々「楽しかった」「また来てね」と、更に「からだに気をつけてね」とまで言つてくださいました。それは本音で言われているんだと感じましたし、そういつたお言葉や喜んでくださる姿から、私の方が元気をいただきました。

最近の私はなかなか勇めなかったのですが、枯れた心に花を咲かせてもらったような前向きな気持ちにならせていただき、本当に感謝しています。

とても良い経験をさせていただきました。次回はずい準備などから携わらせてもらいたい、続けて参加させていただきたいと率直に感じています。メンバーが自然と一丸となり、心温まるとても良い雰囲気を感じながら過ごさせてもらいました。ありがとうございました。

五月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます
親神天理王命の御前に 会長上原明勇 慎んで申し上げます

親神様には「月日にハせかいどううハみなわが子 かハいいハばいこれが
一ちよ」と親心一杯に自由のご守護を賜り 結構に恙なくお連れ通り頂いて
おります事は 誠に有難く勿体ない極みでございます 特に今の季節は木々
の緑が目鮮やかで眩しく花々は次々と咲き誇り 虫や鳥たちも嬉しそうに
飛び回る様子に私共は心躍らせながら 日々朝夕に御礼申し上げ たすけ一条
の御用の上に努め励ませて頂いております

その中にも今日の吉日はこれの教会の五月の月次祭を執り行う日柄でござ
いますので 只今からおつとめ奉仕人一同 明るく陽気に勇んで坐りづとめて
をどりをつとめさせて頂きます 御前には今日の日を楽しみに寄り集いまし
た道の子供たちが 相共にお歌を唱和し 日頃の御高恩に改めて御礼申し上げ
る状をご覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて教祖百四十年祭に向け三年千日と仕切つての成人の歩みも締めくくり
の年の半ばに差しかかっております 先月末の全教一斉ひのきしんデーで
は 全国でまた海外でも生かされる喜びに皆ひのきしんの汗を流しました
また今月は直轄教会に巡教を行い 教祖年祭への歩みを再確認致しました
更にまた本日は少年会本部より久保一元先生にお越し頂き「縦の伝道講習会」
を開催致します 親から子へ 子から孫へ 又末代へとこの道が続くようしつ
かりとお話を心に治めさせて頂く所存です

何卒親神様には 教祖百四十年祭を目指し 教祖にお喜び頂けるよう成人の
歩みを進める皆の誠真実の心をお受取り下さいまして 万たすけの上にも尚も
自由の御守護を賜り お望み下さる陽気ぐらしの世の状に一日も早く早く立て替
わりますようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます

立教百八十八年 五月月次祭 祭典役割表

祭主	大教会長様
扨者	山野弘実 横山逸郎

賛者	赤木素志
指図方	三代温生 上原繁道

講話	縦の伝道講習会
----	---------

七月講話	浅野明教
------	------

区分	役割	地方	おつとめをどり															
			笛	ちゃんぽん	拍子木	太鼓	すりがね	小鼓	琴	三味線	胡弓							
坐り勤	上原志郎	吉岡誠一郎	中村義太郎	大教会長様	前会長様	上原繁道	大教会奥様	前奥様	田中ますみ	岡崎治喜	中村剛	佐藤道孝	山田敏教	吉岡壽	今川昌彦	上原順子	門脇加津	岡崎豊子
前半	中島誠治	虫明立生	佐藤真孝	田中隆之	山野弘実	横山逸郎	谷内美知子	中村初美	田中つかさ	杉原善朗	中村道徳	三代温生	高木昭祥	上原志郎	内海史郎	内海安子	横山小智榮	山野なつ
後半	岡崎真一	横山逸郎	上原繁次	谷内伸自	吉岡誠一郎	森本忠善	武内正美	吉岡八恵	上原千枝子	上原浩	中村剛史	赤木素志	谷内秀自	中島誠治	岡田誠	高木孝子	室悦子	三島照美

大教会だより

◎本部食堂ひのきしん

自	立教188年	6月1日
至	立教188年	6月5日
出	雲	鳥谷達男
自	立教188年	6月6日
至	立教188年	6月10日
島	根	辻井万喜子
自	立教188年	6月11日
至	立教188年	6月15日
新	輝	豊杉本悦子

訃報

山成友司さん

稲富士分教会長

6月12日出直されました。
享年 89才



2030年には、65歳以上の3.3人に1人が認知症、またはその予備軍になるとの見通しがあります。誰に

とつても身近なことになる。現に私もその年齢に近づいてきて、認知機能低下を遅らせる備えを少しずつ始めていきたいのですが…。おまけに血圧高めの私には脳梗塞の危険も大いにあり、生活習慣を改善しなくては思うのですが、私もお酒が好きでやめられません。一つ改善すればリスクを一つ軽減することにつながると思うのですが、なかなかです。先日家に来られた方に「アルコールは一切飲まなくなった。あんたもやめないかこんぞ！」と言われてしまいました。

人生百年時代、健康寿命が問題です。百歳とまではいなくても、健康的に暮らせることに感謝して、においがけ・ひのきしんと身体を存分に動かし、使わせて頂ければこれ程有難いことはないですね。

これからの季節、梅雨から猛暑と厳しい日が続きますが、その中にも、その時々々の身近な自然の様子に季節を感じながら身体を動かせる喜び、有難さを胸にとめて参りたいと思う今日この頃です。

(は)

天理の教え

さまざまないたみ・悩みを抱えた
あなたへ届けたい 心のエッセンス

YouTube

チャンネル登録

チャンネル登録をお願いします

チャンネル

なるほど👉から始まる新しい一歩

心の力 & 学びの力

さまざまなケースに取り組んできた

経験豊富な話し手たちの

なるほどの10分間



天理の教えチャンネル視聴方法



スマートフォンの方は
QRコードをスキャン
してください

パソコンの方は
インターネットで検索

天理の教えチャンネル

天理教布教部

